

# 学術情報基盤を支えるシステムと制度のこれから

## 運用モデル



これからの学術情報システム構築検討委員会  
システムモデル検討作業部会  
相原雪乃 (北海道大学附属図書館)

# 方針 ビジョン

これからの学術情報  
システム構築検討  
委員会

## 中央システム の提供

NII

## 個別課題の解決

図書館システム（ローカル）  
電子リソース  
メタデータ

システムワークフロー検討作業部

## 運用

共同調達

組織

コミュニティ

システムモデル  
検討作業部会

# 本日の内容

- 運用に関する話をQ&A方式で説明します。
- この後のディスカッションでも、さらに質疑応答や意見交換を行います。

# Q. 運用とは何でしょうか

- 「学術情報基盤を支えるシステム」を利用する機関が、共同体を形成し、システムを活用することです。
- 共通ルールの策定、システムの高度化、情報共有や人材育成のためのコミュニティづくりなどをNIIと役割分担をしながら、共同で行っていきます。
  - 今までもNACISIS-CAT/ILLのルール作りや研修を参加館が担っていた

# Q. 今のままではいけないの ですか

- DB共同構築から統合的発見環境整備へと事業モデルが変化する中、改めて運用方式を整理し、現状にあわせて再構築する必要があるためです。
- 今の運用方式は、35年を経て変化してきました。特に利用機関の「当事者意識」は薄れてきています。
  - 「学術情報基盤を支えるシステム」のニーズを示し続けなければ、システムが無くなる可能性も

(問題意識の原点)  
2020年目録所在情報サービス  
(NACSIS-CAT/ILL) 再考のための提議  
平成26年12月 国立情報学研究所

- 問題意識
  - 学術情報の変化
  - 安定運用であるがゆえの施策順位の低下
  - 大学図書館の参加意識の低下
  - 相互理解の不足
- 提議
  - 理念の再構築
  - 事業モデルの見直し、システムの見直し
  - 大学・大学図書館との連携の一層の緊密化

第9回これからの学術情報システム構築検討委員会（平成27年1月21日）配布資料No.4-1  
[https://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/pdf/korekara\\_doc20150121.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/korekara/about/document/pdf/korekara_doc20150121.pdf)

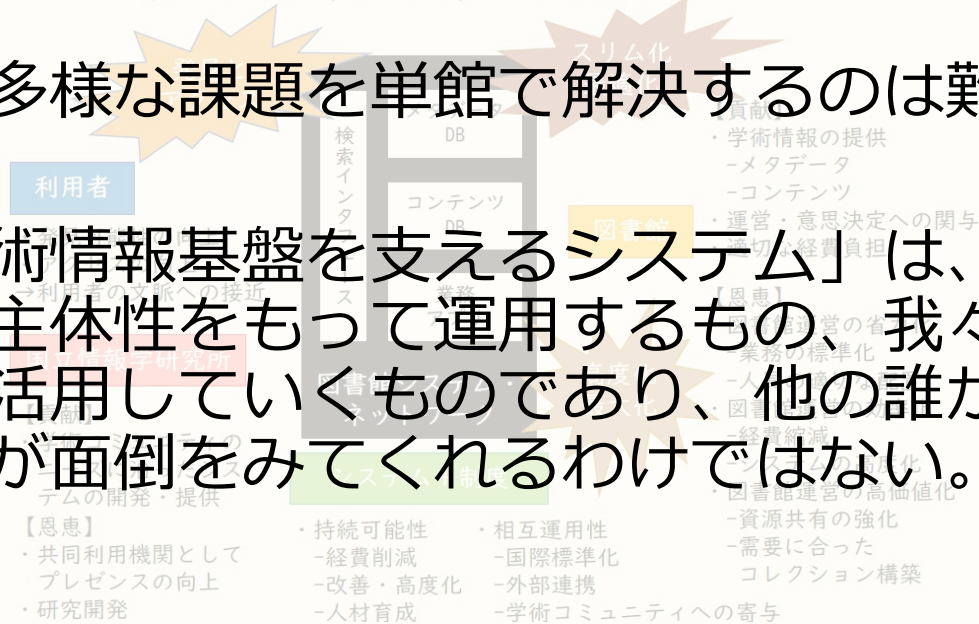
# Q. 何故、共同体が必要なのですか

- 他館と知見を共有し、相互にフォローしあって業務を進めるためです。

在り方(2019)で描いたこと

- 多種多様な課題を単館で解決するのは難しい。

- 「**学術情報基盤を支えるシステム**」は、我々図書館が主体性をもって運用するもの、我々の意思決定で活用していくものであり、他の誰か（第三者）が面倒をみてくれるわけではない。



# Q. 負担が増えませんか

- スタート当初は、組織作りなどで増えると思いますが、今までの土台の下での再構築ですので、極端な負担を想定する必要はありません。
  - その後は運用の方式次第
  - 各機関の負担が一律に増えるわけではない
  - (35年前の再現ではない)
- 「当事者意識」を持つことの方が大切です。
  - 意見を述べる (調査・アンケートへの回答)
  - 投票する (意思決定への参加)



# Q. 何を共同調達するのですか

共同体 = 図書館ネットワークシステム運営コンソーシアム (仮)

中央システム	ローカルシステム
紙と電子を含む目録システム 紙と電子を含むILLシステム ライセンスデータの共有	電子資料管理 目録作成 (CAT接続) 相互利用 (ILL接続) 検索 (OPAC・ディスカバリ) 自館作成電子アーカイブ 契約・受入 閲覧・利用者管理 その他

共同運用 (NIIとの役割分担あり)

共同調達・運用グループ

単独調達・運用

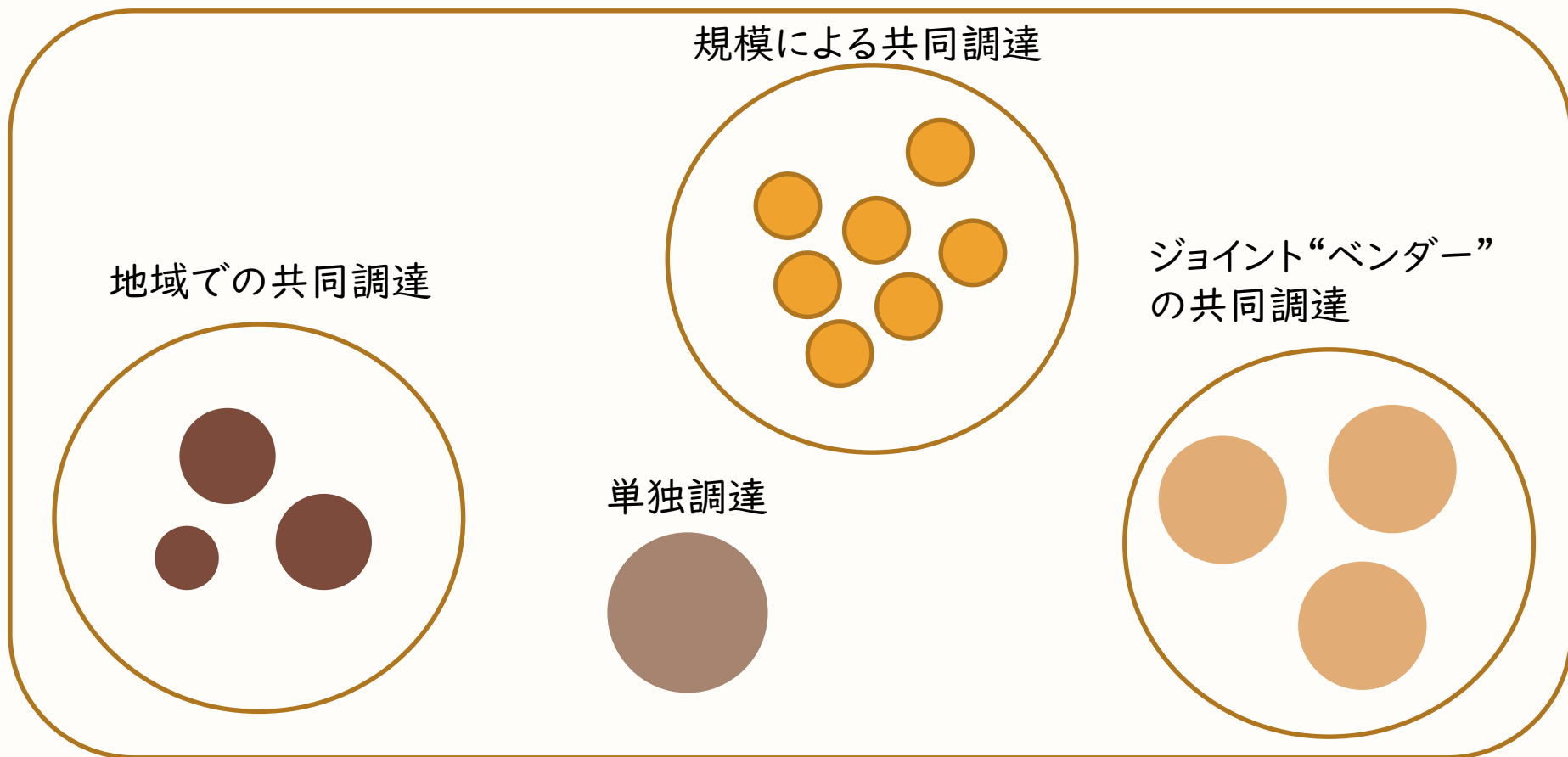
将来的には

共同調達・運用 (NIIとの役割分担あり)

# Q. 共同調達のイメージが湧きません

- 今後、共同調達・共同運用という選択肢が増えることを想定しているということであり、特定のシステム構成や提供形式を想定・指定するものではありません。
- よって全機関が必ず行うわけではありません。
- 共同調達を行いやすい環境（情報共有や連携）を整えることは、この共同体の役割の一つです。
- 共同調達が提案できる場（今はどこにもない）を一緒に作りましょう。

# いろいろな選択肢が想定されます

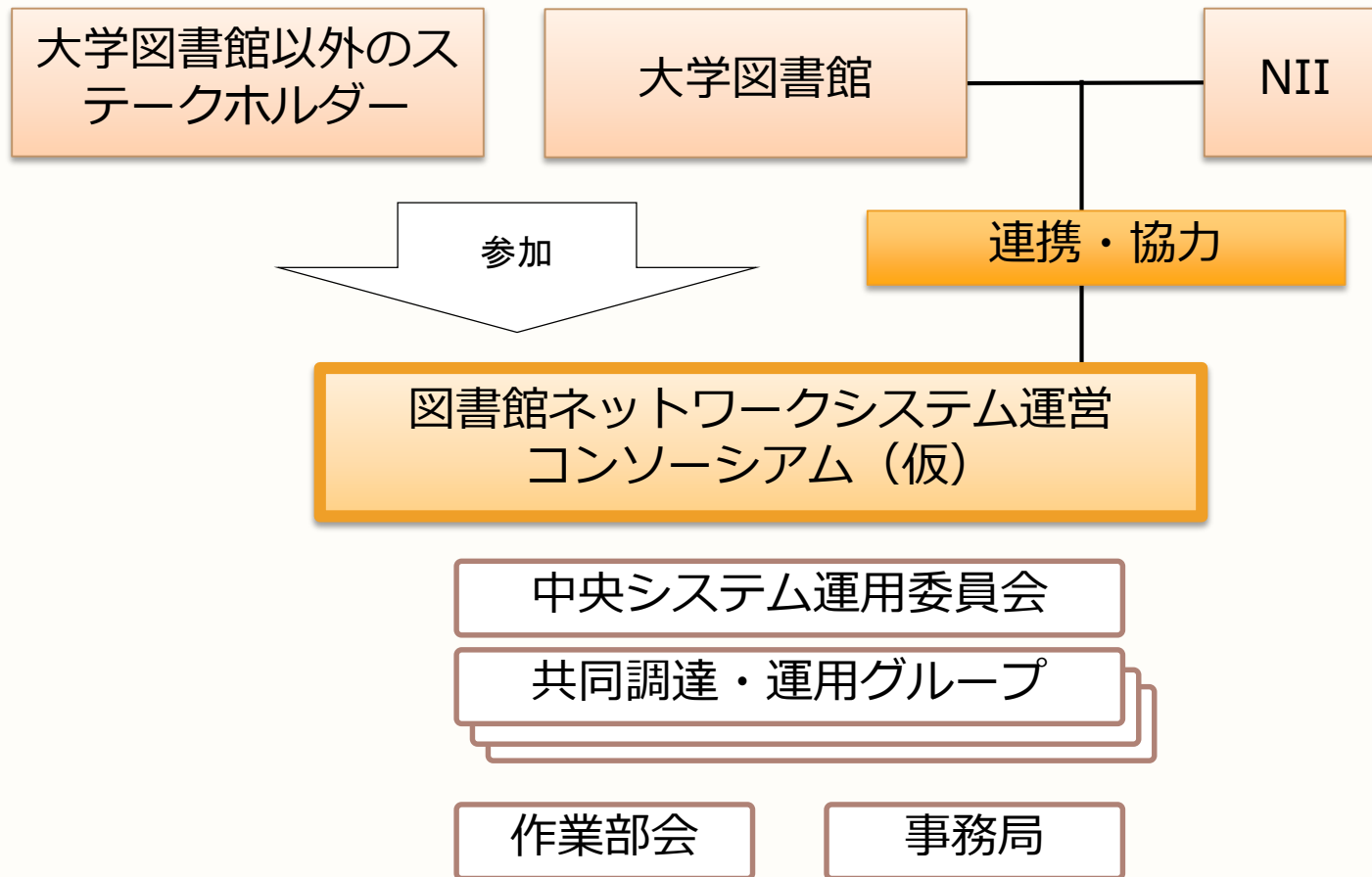


Q. ローカルシステムもNIIサービスとして提供されるのでしょうか。

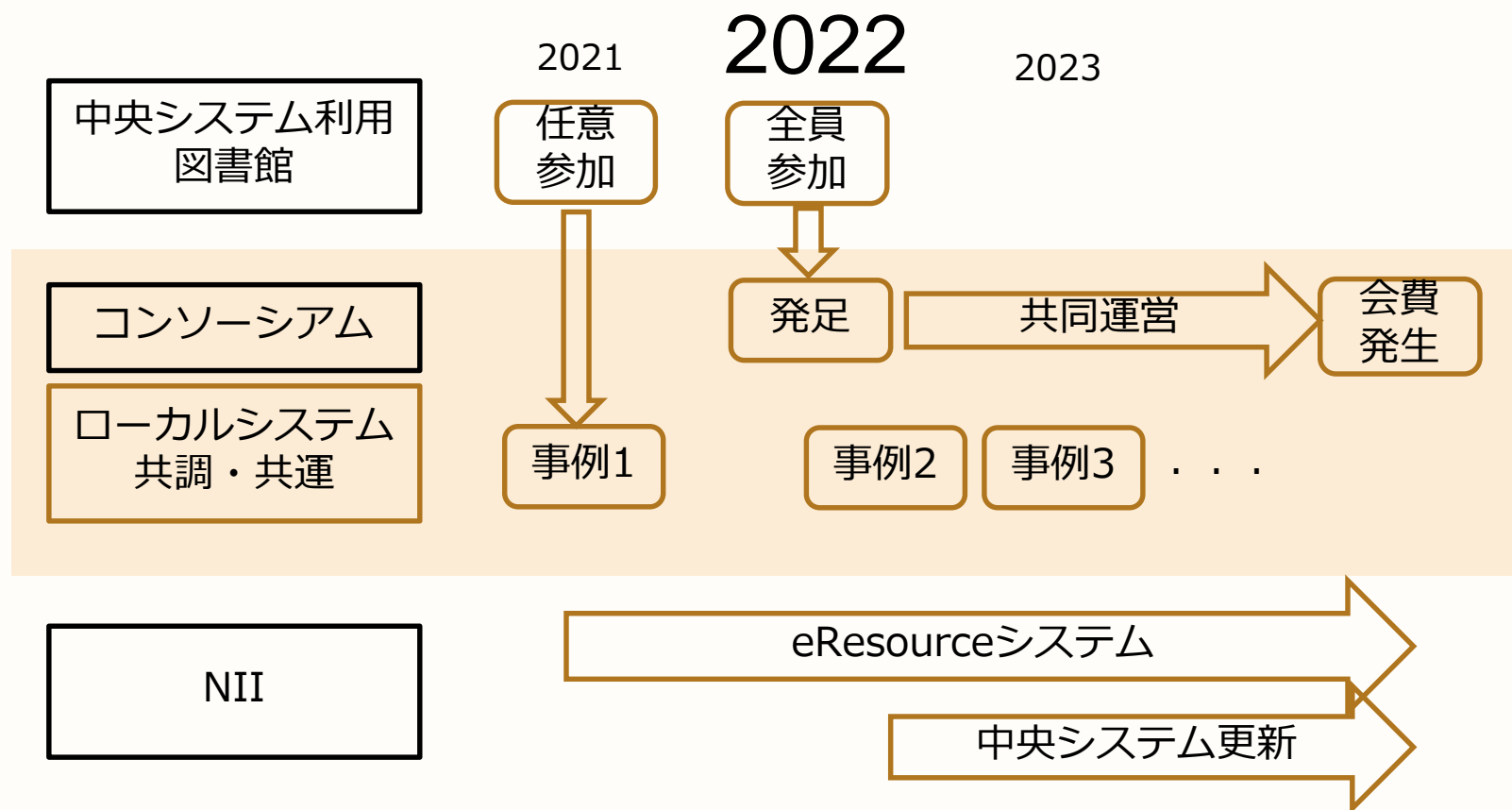
- NIIがローカルシステムそのものを提供することはありません。
- 一方で、今後、共同体とNIIの協議によって、利用機関が共通に使用する**機能**が中央システムに組み込まれる可能性があります。

# Q. 組織図を示してください。

イメージ図



# Q. スケジュール感はどうなっていますか。



# Q. 参加費が必要ですか。

- 共同体の活動資金として徴収される予定です。
- 金額は共同体を運営する会議で決まります。

続きは、ディスカッションで